

# 村長の日記

---

8月1日（水）

## 関西広域連合意見交換会

関西広域連合は 大阪、京都、滋賀、奈良、和歌山、兵庫、鳥取、徳島、が参加しています。

関西広域連合の使命は

### 1. 広域防災

関西広域連合は、近い将来高い確率で必ず発生する南海トラフ巨大地震などの大規模広域災害対策の推進により、関西全体の安全安心の向上を図る。

### 2. 広域観光・文化・スポーツ振興

日本の歴史、文化、伝統の宝庫で、日本の魅力が凝縮された関西を全国、全世界へ発信するとともに、アジアの文化観光の中心を作る

### 3. 広域産業振興

関西の持つ産業集積、インフラ、人材などの資源を活かし、関西全体の国際競争力を強化を「関西広域産業ビジョン 011」に基づき、オール関西で取り組む。

域内の農林水産業を関西産業の重要な部分として、競争力のある産業に育成する。

### 4. 広域医療

関西全体を4次医療圏として位置づけ、安全安心な関西を実現し、府県域を超えた広域医療救急体制を実現する。

### 5. 広域環境保全

「低炭素社会の実現」「自然共生型社会」「循環型社会」「環境人財育成」環境先進地域関西を目指す。

### 6. 資格試験・免許

府県ごとに実施していた各種資格試験「調理師・製菓衛生士・循環技師」試験問題作成、試験実施、合格者の管理、免許交付を一元的に実施、効率化を図る。

### 7. 広域職員研修

関西の共通政策課題研修など、合同職員研修を実施、職員の広域視点の養成、業務執行能力向上、構成団体間の相互理解を深め、人的ネットワーク形成を作る。

## 村長の日記

---

関西広域連合は年間 23 億 3 千万円の予算

8月2日（木）

### 南河内イチゴ楽園プロジェクト推進会議総会

参加者は千早赤阪村、河南町、J A南河内、大阪府農と緑南河内。

このプロジェクトは昨年から実際にイチゴが産出され、しかもデパートで売れた。村の農業プロジェクトでは初めて結果が出たケース。

この事業はJ A南河内から多大な補助金を拠出してもらったことが、事業を成功に導く原動力となった。今年はイチゴアカデミーを開講し、受講生にイチゴ栽培に携わっていただき、南河内のいちご ちはや姫 のブランド化を目指す。

ちはや姫、楠公さん、金剛山、名前を売るのが大変だが、ちはや姫 がブランドになれば、いい村のPRになる。

なかなか住民がイチゴ作りに参加してくれなないが、良いイチゴが出来て収益が上がれば参加してくれる人も出るだろう。

まずは ちはや姫 のブランド力アップと産地形成を、大阪府、J Aの力を借りて推進する。

8月5日（日）

本日、大阪府消防協会南河内地区支部総合訓練が羽曳野市立石川スポーツ公園で行われる。暑い中消防団の諸君は大変だ。消防団の大会は暑い夏か、寒い冬のさ中に行われる。厳しい仕事だから仕方がないのかと思われるが、出来れば気候の良いときに行ってもいい。

私が出席すべきだったが、弟の満中陰法要があり、副村長に出席をお願いした。

地域の違いがあり、千早で満中陰は3か月にわたってはいけないと言われており、四十九日にはこだわらず2か月以内に行うのだが、岸和田ではきちんと四十九日に行う。

満中陰には墓参することになっているが、今日は熱中症対策で取りやめ、葬儀を行った葬儀場で法要、食事会で解散となった。

8月8日（水）

### 食事会

大阪府から当村へ出向していた皆さんとの食事会、年に2~3回は行っている。副村長、あるいは理事として問題解決に奔走頂いた、20

## 村長の日記

---

人以上の皆さんがいる。一同に集まっていたき、諸問題の考え方、解決方法。カタい話だけではなく、グルメ、お酒、その他。私が村長になって14年。その間お世話になった皆さんは、14年の経過で皆さん偉くなっている。進歩の無いのは私だけだ。今回は天満にある中国料理店で集合。オーナーも私たちを覚えているらしく、今回は伊勢エビのフライをサービスしてくれた。いつも集まってくれる皆さんは、府庁内部の千早赤阪村サポーター。しかもすべて幹部。すばらしいヒント、支援を頂く。力強い味方がいるので心強い。これからも皆さんの援助を頂きながら、少しずつでもいい村造りに励もう。

8月9日（木）

### 朝

#### 中学生帰国

中学校オーストラリア研修組が帰ってくるので、くすのきホールで出迎え。9時30分バス到着、真っ先に女の子が飛び出してきて兄弟と母のそばへ走り寄る。元気があふれている。今回で5回目の海外研修、いつも行くときはあまり元気がないが、帰ってくる時は元気モリモリ。

今年も9人の生徒が全員無事帰国してくれた。無事で当たり前だが、やはり一抹の不安がある。オーストラリア、ブリスベンのセンチナリー高等学校は海外の生徒受け入れは手慣れたものだし、私達をお願いしている近畿日本ツーリストも、信頼のおける会社だ。しかも今回は教育長が同行してくれている。彼は以前英語の先生だったこともあり安心だったし、同行した中島君も入庁7年目のベテラン職員。しかも近畿日本ツーリストからは女性の添乗員も同行、万全の体制だが、万が一がある。

私達は、外国の中では治安がとても安定しているオーストラリアのブリスベンで、何十年にも渡ってホームステイを受け入れているホストファミリーにお願いするので、必ずいい結果が出ると信じてこの事業を継続している。例年の報告会を聞いても、良くなかった、つまらなかったとの報告は無い。今回帰って来たみんなの顔を見ても、いい顔つきをしていた。ひと皮むけたように思う。きっと何かを掴んで帰ってきたと思う。今年の報告会は9月にある。村からは前国連事務次長を輩出しているし、現在、国連正職員の女性もいる。私の姪も今、タイで働いているボーダレスの時代、この子たちも国際化のトップを切ってくれるかもしれない。その一助にでもなれば、無限の可能性を信じてこの事業を続けよう。

## 村長の日記

---

8月14日(火)

お盆の日、役所は盆休みで普段より人員は少ない、来庁者もほとんどいないので静かだ。今年のお盆は暑いことを除けば平和に過ぎると思っていたが、昨日13日は14時頃に金剛山カトラ谷で遭難の報が入った。救急車、レスキュー車、指令車、赤い車が まつまさ 駐車場の半分を占めるほど集まった。千早分署の職員が手際よく人員の配置を決め、救出体制を整えていく。プロは手際が良い。カトラ谷の入り口まで四駆の軽で人員を運んでいく。カトラ谷は、この冬あまりに遭難(救助要請)が多かったので通行禁止の立札を出しているのに。金剛登山者の最近の傾向は、毎日登山する常連の皆さんは本道を通る事が多く、横道にそれることは少ない。年間10回~30回程度の登山者は、来るたびに違うコースを取るし、通行禁止の立札を無視して登る。特にカトラ谷は今年の台風21号で表土が流され、スリップしやすく、傾斜もきつい。既に数多くの滑落事故があり、消防団、消防署が出動している。通行禁止の立て札があるのにまたも事故、いい加減にしてほしい。

救出しても ありがとう の一言もない。行政が救助するには当たり前と思っている。一人の不注意の為、消防団も含めて五〇人も出動している、莫大な経費が掛かっている。アメリカでは救急車が出動したら300ドル~400ドル(3万円~4万円)取られるのが普通。金剛山も通行禁止のコースを使って事故を起こした時は、救出を有料にしたい。

今日も14時頃、遭難の情報が来た。今度は妙見谷の奥、がけ崩れがあり危険なところ。ここも登山禁止の立札が立ててあるのに。消防署、消防団が連日出動、1人が崖の途中で行くことも帰る事も出来なくなって立往生、一緒に来ていたもう1人が滑落して心肺停止。二人とも、かなりの高齢者。立ち往生の1人をレスキュー隊がザイルを使って懸垂降下し、救助して頂上へ引き上げ、心配停止のもう1人の救助。二人の救助に、今回も50人規模の人員が必要だった。

正規の登山道だったら滑落事故は起こらない。現在金剛山は100コース以上の登山道があると言われているが、ほとんどは登山者が勝手につけたコースで正規のルートではない、いわば闇ルートだ。救助の要請があっても場所の特定が非常に困難、現場探しから始まる。搬出は更に困難になっている、救助に行く人員も大きな危険にさらす事になる。

最近はヘリコプターでのつり上げ救助も多いが、悪天候時や夜間はヘリでは救助できない。命が救えない。

禁止されているところを登るのは、絶対に止めて欲しい。

今の状態が続くと登山道は、本道、伏見林道、ダイトレコース 等の主要登山道以外は 登山禁止、立入禁止 にする必要がある。冬山登山の前に、遭難、事故の無い金剛山を作る。警察、消防、消防団、皆さんの願いだ。

## 村長の日記

---

8月17日（金）

**10:00**

**水道企業団首長会議**（シティプラザホテル）

従来より課題となっていた、水道企業団議会議員定数決定の件。竹山企業団会長の議長で開会。四條畷市長、島本町長の意見開示の後、議員定数は当分の間33人とし、以後企業団の発展に従って見直すこととした。

**11:30**

大阪府町村長会で、次回の大阪府町村総会の打ち合わせ。大阪府振興協会の決裁文書を決裁して昼食。

**14:00**

**大阪府森林組合第17回総会**

私は森林組合総代として出席。来賓として竹内副知事、林野庁森林管理局長、河内長野市長、全森連専務理事が出席。

報告では

- ・ 4年連続で黒字決算が出来た。
- ・ 前年度より事業量減少、今後もこの傾向は続く見込み。
- ・ 森林環境譲与税の実行に伴い、森林整備作業が増える見込み。

出席者より

- ・ 30年度事業計画では損益計画で赤字となっている。計画段階で赤字とは何たることか、しっかり利益の出る事業計画を。
- ・ 木材業界は不況だが、既に木材単価が低迷して20年以上。収益体質にするノウハウは出来ていてしかるべきだ。

8月18日（土）

**14:00**

**天皇陛下御即位30年を祝う大阪府民の集い**（シェラトン都ホテル）

今回は大阪府市町村長を代表して万歳をと言われて現場に到着、リハーサルの為ステージへ。大変なことを実感した、普通の万歳とは違う。

## 村長の日記

---

正寿万歳と言う。万歳は本来参会の皆さんと向かい合って行うものだが、この万歳はステージの正面にある日の丸に向かって行う。

「天皇陛下万歳」

生涯最初で最後の正寿万歳だと思う。

8月21日（火）

鳥取県 湯梨浜町 大山町 琴浦町 訪問

**7:00**

合流場所“道の駅はわい”をカーナビに設定、距離252キロ、到着時間12時15分と出た。はわい温泉は思ったより遠い。合流するのは高石市長、河内長野市長。合流までの長いドライブが始まった。途中、河内長野市長よりTELあり「今、藤井寺」。我々は、門真第2京阪分岐の近く。近畿道は車が多くゆっくりと走っている状態、はたして集合時間に間に合うかどうか。1番早く 道の駅はわい に着いた、揃うまで道の駅見学。鮮魚売り場では活きの良い『のどぐろ』、皮をむいて料理しやすい状態の大きな『あんこう』、美味い『白イカ』があり、しかも安い。買いたいが、まだ目的地へ行く途中。諦めてヒラメの丼を食べる。

予定時間に到着少し遅れて全員揃い、湯梨浜町へ。湯梨浜町は天女伝説繋がりで、高石市とは天女サミットの仲間、今回訪問のセットをしていただいた。湯梨浜町の庁舎へ入って行くと、窓口に並んでいる職員皆さんが「こんにちは」と挨拶をしてくれる、職員教育の行き届いた町だ。

大山町へ。町長は36歳、就任2年目、若い元気な町長だ。後醍醐天皇が隠岐の島を脱出、五日後たどり着いた町。腰掛石が海岸の波打ち際にある、後醍醐天皇が船から降りて腰を掛けた石。「揺れないのは良い」と天皇がお呟きになったところ。

名和神社、名和長年及び名和1族をお祀りする神社。名和一族は海運を生業とし、後醍醐天皇を隠岐の島から脱出させ、船上山の戦いを経て、京都凱旋を楠木正成公と共に支えた。この町は山陰の名山 大山、小泉八雲 と 後醍醐天皇の町。

琴浦町と船上山、琴浦町にある船上山は、名和長年が後醍醐天皇を支えて80日間戦い、京都凱旋の道を開いた古戦場。頂上は平らな広場になっている。周囲は屏風岩と称する100mを超す岩場で、寄せ手の上に岩を落として戦った。正に楠木正成公の戦法と同じ、山深い所に難攻不落の場所を選び、勝利を得た名和長年。どこか楠木正成公に似たところがある。

## 村長の日記

---

8月23日（木）

### 台風来襲

#### 14:00

南河内環境事業組合の総会開始の頃から、スマホに警報が入る。台風19号が潮岬沖から北北東に35Kmのスピードで関西接近中。河南町避難所開設、千早赤阪避難所開設。

#### 夕方

職員の半数を待機させ、台風来襲を待つ。22時頃、台風は徳島県から瀬戸内海へ、村は風がかなり強くなってきた。23時、姫路市付近に上陸、兵庫県を北へ。村の川は普段の雨程度の増水、木が数本倒れた報告が入る。さっそく担当が除去。

8月24日（金）

#### 5:30

7班体制で村内被害調査、樹木が何本か倒れているだけ。担当が処理に出動、7時頃、台風体制解散、大きな被害が無くてよかった。帰って風呂へ。

8月26日（日）

### 朝

菊井秘書宅へ、昨夜彼の父が事故で亡くなった。ここ数年私の檄文を担当してもらった。菊井さんの檄文で当選した政治家は数知れず、感謝をこめて冥福を祈る。

#### 15:00

### 道の駅

イベントに出展で嫁と到着、テントを張りだしたが暑い。奥千早が暑いと思っていたがレベルが違う、立っているだけで汗が出る。ちはやあかさかくらすの諸君が道の駅でイベント17時から20時まで。さすが若い人が主催するイベント、集まってくる皆さんも若い、しかも子供が多い。いつも村でこのくらい子どもが集まればいいのにと思いながら、暑さに耐えて出店の準備が終わる。

## 村長の日記

---

商品は豆腐、ベーコン、どちらかと言うと中高年向けの商品。売れるか心配していたが、村の皆さんに多くお買いいただき、完売とはいかなかったが、いい結果だった。

8月29日（水）

### 道の駅検討委員会

開始にあたり、今回まで3回行われた検討会議の論点を役所から説明。

#### \* 施設・機能

- ・ 農産物販売とカフェ機能を中心としながら、観光案内を充実させたり体験メニューを加えたり、イベントを開催したりして人を集める努力をする。
- ・ 直売所と道の駅が共同して運営できる方法(村内の農業者が共同して、共に村農業発展に必要不可欠な施設にする必要がある)。
- ・ いきいきサロン、くすのきホール、資料館等の村施設と共に共同して、一体的な運営を図る。
- ・ コンビニの無い村にとって、住民の生活必需品需要を満たせる施設。
- ・ 現在の道の駅広場では、外部事業者が参入する可能性は少ない。参入があっても、村に合った道の駅にしてくれるか疑問だ。
- ・ 今の運営形態では成功がおぼつかない、新しい運営形態が望まれる。

#### \* 場所

- ・ 交通の便が悪くても、特産品などで他の道の駅との差別化が出来たら必ず人が来る。
- ・ 商売をするには、今の場所ではかなり厳しい。

#### \* 参加者皆さんの意見では

- ・ 直売所は朝6時から開けており、金剛登山の早朝組がお得意さんになっている。開店の遅い道の駅ではお得意さんをつなぎとめられない。
- ・ 道の駅は車の通行が多い所で開店すべき(小松製粉の横など)。
- ・ 現在の道の駅では交通の便が悪く、ぜひ場所を309号線沿いへ移転すべきだ。
- ・ 特産物、名物を作るべきだ。

## 村長の日記

---

\* 私の感覚では

- ・ 店は交通の便が良い場所が良いに決まっている。しかし交通の便が悪い所でも発展しているところは沢山ある。
- ・ 和歌山県の古座川町には道の駅が3カ所ある(人口3000人弱)。買い物難民対策の側面もあり、生活必需品を売っている。コンビニの無い村では考えるべきだ。
- ・ 沖縄では夕方に地域の皆さんが生活必需品の販売所へ集まってくる。住民が集まる場所にできないか。

などを話した。

8月30日(木)

今年の夏は非常に暑く、8月初め村庁舎別館のクーラーが故障した。設置以来35年を経過している機材なので、故障も不可抗力だ。4~5日職員が我慢していたが、熱中症の症状が出た職員がおり、業者に冷房の修理を頼んだところ古すぎて部品が無い。最近の機材とシステムが違い、修理不能の診断。別館の2階に20数人が入っており、健康被害の恐れがある。急ぎよ今年12月に予定していた解体予定の別館、プレハブ内職員の移動および議会、社会福祉協議会の移転を、8月中に行うことにした。

保健センターには議会事務局、議長室、議員控室、および議場が移転。空いた議会事務局には人事財政課(新庁舎、大規模改修担当)、議長室には人事財政課(企画、広報、都市計画担当)、議場には施設整備課、観光・産業振興課、いきいきサロンくすのきには社会福祉協議会が入った。

簡単な室内改造は千福建設、移動は日本通運にお願いし、無事本日完了した。その間大量のごみ・不要物が出たがすべて処分し、スリムな役所になった。

住民さんが利用する窓口の奥には郵便局のスペースが完成し、10月1日には開局する。これで森屋、水分、桐山、川野辺の皆さんは、少し便利になる。